

2020年(令和2年)6月29日

長野県議会議長

小池 清 様

改革・創造みらい

代表 小島 康晴

当面する議会運営に関する提言

県民生活の向上と県民に信頼される議会改革のため、日々ご奮闘いただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、更なる議会改革の必要性に鑑み、私ども会派は当面行うべき課題として、次の事項を提案いたしますので具体化に向けた取組をお願い申し上げます。

- 1 災害対応や新型コロナウイルス対応等の迅速化のため、議会開会を通年とされたい。

併せて、議会日程の年間策定とその公開を検討されたい。

- 2 他県等の状況を鑑みる中、長野県議会における議会改革を着実に進めるため、正副議長の任期を2年とすることを検討されたい。

- 3 議会の論議の活性化を図るため、議員の一人当たりの年間質問時間を割り当てるといった質問時間の拡大や代表質問における会派別関連質問の仕組みの導入を検討されたい。

- 4 議会改革は喫緊の課題であり、県民に対して透明性の確保を図ることは、県議会議員選挙の投票率向上に繋がるものであるため、議会改革調査会の設置を検討されたい。

また、議会の調査・政策能力向上のため、議会専門スタッフの雇用や専門家（医師・法律家・技術者等）からの公聴会の実施を検討されたい。

- 5 硬直的な財政状況が、更に厳しさを加えている中、決算審査の翌年度予算への的確な反映が重要度を増していることから、全ての議員が決算審査に関わる仕組みづくりを検討されたい。

- 6 公共交通対策においては、松本空港の活性化、リニア中央新幹線の整備、生活交通の維持確保等々、重要な課題が多く、調査や他県議会との連携、関係会社への働きかけも含めた早急な活動を行う必要があることから、早期に「特別委員会」を設置されたい。

また、人口減少社会にあっても活力ある長野県づくりを部局横断的に推進するために少子化対策に関する「特別委員会」を早期に設置されたい。

併せて、「新型コロナウイルス」への総合的な対応を図るため、「特別委員会」を設置されたい。

- 7 議会定数や選挙区の見直しについては、今回の選挙結果の検証を行うとともに、当該市町村や県民からの意見聴取、調整等に年月を要することから、早期に「研究会」を設置されたい。